

二国間交流事業 共同研究・セミナー
オープンパートナーシップ 共同研究・セミナー
 ～すべての国・地域対象～

日本学術振興会(JSPS)では、諸外国の学術振興機関(対応機関)との覚書等に基づいて、二国間交流事業 共同研究・セミナーを実施しています。これに加え、日本と国交のある全ての国・地域(台湾及びパレスチナについてはこれに準じて取り扱います)を対象とし、二国間交流を行うオープンパートナーシップ 共同研究・セミナーも実施しています。

	日本学術振興会と対応機関との合意に基づく共同研究・セミナー	オープンパートナーシップ 共同研究・セミナー
相手国の条件	相手国対応機関が共同募集を行っていること(備考欄参照)	日本と国交のある全ての国(台湾及びパレスチナについてはこれに準じて取り扱う)
応募方法	日本側研究者は日本学術振興会に、相手国側研究者は相手国対応機関にそれぞれ応募します。	日本側研究者は日本学術振興会に応募します。
支援の枠組み	日本学術振興会と相手国対応機関が両国の研究者の旅費等を共同で支援します。	日本学術振興会は日本側研究者の旅費等を支援します。相手国側研究者は学術振興機関等から自らの交流経費を得ることが奨励されます。
支援対象分野	国(対応機関)によって異なります。詳細は募集要項を御確認ください。	人文・社会科学、自然科学にわたる全分野
募集締め切り	前年度9月	前年度9月

備考

- 平成30年度採用分として募集する「対応機関との合意に基づく共同研究・セミナー」の相手国※
 アフリカ : エジプト、ケニア、南アフリカ共和国、チュニジア
 アジア・中東 : バングラデシュ、中国、インド、インドネシア、イスラエル、フィリピン、韓国、シンガポール、タイ、トルコ、ベトナム
 中南米 : ブラジル
 オセアニア : ニュージーランド
 ヨーロッパ : オーストリア、ベルギー、チェコ、フィンランド、フランス、ドイツ、ハンガリー、イタリア、リトアニア、オランダ、ポーランド、ロシア、スロベニア、スウェーデン、ウクライナ、英国
 ※国(対応機関)によって、共同研究のみ又はセミナーのみ募集を行う場合があります。
 詳細は、募集要項を御確認ください。
- 「オープンパートナーシップ 共同研究・セミナー」において上記を相手国とする申請も可能ですが、当該国との交流を希望する場合は「対応機関との合意に基づく共同研究・セミナー」での申請を推奨します。なお、申請は1か国につき1件限りとします。また、「オープンパートナーシップ」での申請も各年度1件限りとします。
- 二国間交流事業共同研究・セミナーの募集要項は、ウェブサイトで御確認ください。
<http://www.jsps.go.jp/j-bilat/semina/jrss.html>



JAPAN SOCIETY FOR THE PROMOTION OF SCIENCE
日本学術振興会